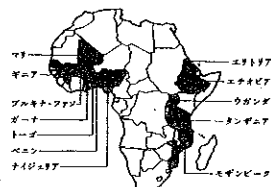


## 日本財団はアフリカの食料自給をめざす活動を支援しています。

人間の生活を豊かにしてくれるのは、  
 いつも最先端の科学や、ノウハウとは限りません。  
 小さくて簡単な工夫とか、古いけれど効果が証明済みの技術が  
 大きな変化をもたらしてくれることがあるのです。  
 たとえば、笹川アフリカ協会の  
 笹川グローバル2000プロジェクト(SG2000)の場合。  
 アフリカに持ち込んだのは、品種改良された種子と  
 必要最低限の化学肥料、それに簡単な加工機械や貯蔵庫といった、  
 先進国ではとりたてて注目されることのないものばかり。  
 それが、SG2000の農業技術指導によって生かされ  
 アフリカ各地の試験農場で穀物の大幅な増産を実現しました。  
 先進国が一方的に施す援助から、現地の人々が理解し、  
 自立につなげていける援助へ…。日本財団が支援する  
 SG2000では食糧自給のできるアフリカのために、  
 現地で精力的な農業技術指導を続けています。



SG2000の試験農場は、  
 アフリカ12か国で実施されています。

私たちの活動資金は、穀物の売り上げの3.3%によってまかなわれています。



農業や農機具はアフリカの発展に不可欠。  
 SG2000では、これらを促った  
 効果的な耕作や貯蔵を指導しています。